

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

「伝統の継承とさらなる躍進」

- 豊かな人間性
 - あいさつや礼儀を尊び、誠実な人間を育てる
 - 常に勤勉な態度を養い、職業人として必要な学力を育てる
 - 自主自律の精神を育み、一人一人の進路希望を実現する
 - 普通科、美術科、メディア芸術科が切磋琢磨し、教育の質を高める
- 健康・体力
 - 部活動や生徒会活動への主体的、積極的な参加を促し、生徒の活力を引き出す
- 地域からの期待と信頼に応えるための積極的な教育活動
 - 社会性の確立に努める
 - 3つの学科が切磋琢磨し、教育の質を高める

各学校で定める目標と育成する資質・能力

現在のこと
毎日の生活の中での気づき、地域の人々に根ざしていることを教員とともに探究することにより人生を充実させる

過去のこと
遺跡や資料館などを訪ねることにより、歴史を学ぶことが現在の自分の生活を見つめ直し、よりよい人生を送る意識を高める

他地域のこと
修学旅行等を通して、その地域に根ざした文化や知恵を知り、自分の住む地域の魅力や改善の知識を得る

未来のこと
主体的な進路を選択するための具体的道筋を考える意識と態度を身に付ける

総合的な探究の時間の学習評価

- 現在の生活でのささやかな関心事を流すことなく心にとどめ、実践しながら考えを深める探究活動により人生への前向きな姿勢
- 遺跡や資料館などを訪れ歴史を探究することにより、自身の選択に責任を持ち、過ちから学ぶ姿勢
- 修学旅行等から文化の違いを実感することにより、自身の地域への興味関心呼び起こし、地元の魅力をアピールし改善点を掘り起こす姿勢
- 各自の興味関心による探究活動、インターンシップでの体験等により自身に合った進路の選択を主体的な行動によって実現できる姿勢

生徒の実態

- 成功体験、自ら主体的に行動する経験も少ないゆえに自信が持てない
- 授業の規律は概ね保たれている
- 中学校段階までの基礎学力が不十分な生徒がいる
- スマホ依存傾向が強い生徒、スマホのマナーを知らない生徒の増加
- 心理的特質や発達の課題を抱える生徒の増加
- 部活動の定着率が高くない

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- 多様な支援を必要とする生徒に対する学習支援や適切な対応に努める
- 心の教育の推進と特別活動の充実

目指す生徒の姿

- 成功体験を積み重ねた自信に溢れ、自ら主体的に行動する
- スマホ等の機器を自在に扱える一方、社会的な規律を知識として得ており、社会的なマナー・ルールを身に付けている
- 自身の心理的特質や発達の課題を客観的に理解することができ、課題解決のために自ら行動できる

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

1年
「道徳」の内容及び2年次の探究活動、3年次の進路実現に向けた教材を実施する。
<普通科>
①LIFE&読書、②LIFE&Style up、③LIFE&Musica、
④LIFE&Animation、⑤LIFE&バレーボール+ランニング、
⑥LIFE&Car、⑦LIFE&Drama(演劇)の7講座。

2年
○平和教育 ○地域の特性 ○社会人として働くために必要なこと
【育成を目指す具体的な資質・能力】
・人生への前向きな姿勢
・自身の選択に責任を持ち、過ちから学ぶ姿勢
・自身の地域への興味関心

3年
○進路に向けた学力の向上 ○社会人として必要なマナーや人間力の育成

学習活動、指導方法等

- 教員と共に講座のテーマに沿って、様々な体験と実践を重ね探求活動の進め方や考え方を身に付ける
- 体験によって得た技術や情報をもとに、自らが課題を発見し、自分のこととして実践を深め成果発表を行う
- 現地を訪れ、知識として知り得たことを追体験する
- 修学旅行先を通じて地域の文化を体験することにより、自身の地域の文化と比較し、その魅力と課題を考察する
- インターンシップを通じて各事業所での注意点やルールを遵守することで、社会に一員としての自覚を深める
- 各事業所で一番大切にしていることや目的を学び、そのことについての発表活動を通して主体的な進路選択につなげる
- 進路ガイダンスや分野別進路学習会などを通して、進路決定に向けての課題や方法を探究する
- 校外清掃やテーブルマナー講習会などを通して、社会人として地域に貢献する姿勢や必要なマナーを身に付ける

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- 地域に対する関心等を高められる、地域で活躍しているその道のプロの情報を得る
- 修学旅行先のみならず、家族や笠間高校の周辺での遺跡や資料館等の情報を収集し、生徒が他人事ではなく過去を知ることができるようにする
- 修学旅行を振り返りながら、家庭や地元の類似していることや全く違う習慣・風習などを考察して、まとめられるよう支援する
- 2学年全員が2~3日間のインターンシップを行えるよう、受け入れ先を確保する
- インターンシップが円滑に行えるように、手引き等を作成・活用し事前学習を行うとともに、お礼状などの事後指導も行う